

よねざわ

第108号

発行／米沢市議会
米沢市金池5-2-25 ☎22-5111(代)
発行年月日／平成21・2・1

市議会だより



直江兼続シリーズ⑦

直江兼続所用と伝わる甲冑（上杉神社所蔵）

直江兼続の代名詞ともなった「愛」の一字を兜に掲げる甲冑で、正式な名称は「金小札薄浅葱糸威二枚胴具足」といいます。「愛」の一字については、雲の上ののっていること、謙信・景勝の兜も神仏を掲げることから、軍神の「愛宕権現」あるいは「愛染明王」に由来すると思われます。また、NHK大河ドラマ「天地人」では「民への仁愛」を表したものと紹介、兼続の治政・生き方を、後世の人がどう評価しているのかを示しているようです。

平成20年12月定例会

	ページ
◆12月定例会の総括	2
◆一般質問	3
◆常任委員会の審査から	10
◆予算特別委員会の審査から	11
◆請願・管外行政視察・あとがき ...	12

「米沢市特別職の職員の給与に関する 条例等の一部改正について」を否決

12月定例会

3日～18日



悪臭問題特別委員会を設置

悪臭問題特別委員会は、悪臭防止に関することについて、審査及び調査研究するために設置したものです。



鈴木 章郎
相田 克平
佐藤 弘司
工藤 正雄

高橋 壽
○我妻 徳雄
◎加藤喜工門
齋藤 春美

◎委員長
○副委員長

平成20年12月定例会は、3日から18日までの16日間の会期で開会しました。

初日の本会議では、専決処分1件を承認後、議案50件及び請願3件を各委員会に付託し、「米沢市選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙」を行いました。

5日、8日、9日には、15名の議員による一般質問が行われました。

9日の一般質問終了後に、追加議案8件が上程され、所管の委員会に付託しました。

10日には総務文教常任委員会、11日には民生常任委員会、12日には産業建設常任委員会をそれぞれ開き、議案及び請願について審査を行いました。

15日には、予算特別委員会を開き、補正予算13件について審査を行いました。

最終日の18日の本会議では、各委員長報告が行われ、議案58件のうち「米沢市特別職の職員の給与に関する条例等の一部改正について」は否決され、残り57件についてはすべて原案のとおり可決されました。請願3件についてはすべて採択、意見書の提出にかかる発議2件を可決、最後に、悪臭問題特別委員会を設置し、12月定例会を閉会しました。

一般質問

「市政のここが聞きたい」

12月定例会では15名の議員が質問を行いました。ここでは、1時間の持ち時間から主なものを取り上げております。詳しくは3月に会議録ができますので、情報公開コーナー（4階）、市立図書館、米沢市議会ホームページをご覧ください。

氏名のひらがな表記・ふりがなは、各議員の希望で入れています。



米沢短大の4年制化、三世帯同居の促進について市政を質す

しづま かすみ
議員

モンテデイオ山形が10年来の悲願J-1昇格を決めたのと同様、米沢においても20年来の願いを達成したい。それは県立米沢女子短期大学の4年制化だ。

生活習慣病の予防やメタボ対策、食育の推進に管理栄養士の需要が高まっている。県は管理栄養士の養成（4年制大学）を検討しており、米短がそれを担うべきである。一方で競合する大学も出てきた。先進事例を学ぶために行政視察をしてきた深谷市では、経済波及効果が継続的に大きいため、大学誘致のため応分の負担をしている。米短に管理栄養士養成課程を誘致するために、危機感を持って、大きな決断と素早く行動すべきである。

〔市長〕強い危機感を持って、誘致の実現に向けて、できる限りの支援と応分の負担をしていかなければならないと考えております。学園都市推進協議会と要望していきます。



本市のまちづくりについて

えびな さとる
議員

20年度当初の予定から大幅に策定が遅れている「中心市街地活性化基本計画」について、市としては本来に必要なものと考えているのか。

〔企画調整部長〕現状では市や地元企業だけの核となる事業が見えてこない状況にあり、市外の民間事業者の参入等も視野に入れた情報収集を行なっておりますが、具体的な計画までには至っておりません。しかし、コンパクトシティの先導的役割を担う計画であることから、その必要性を認識し、できるだけ早い時期に策定していく必要があると考えています。

中心市街地活性化事業の事業実績とその効果は。また今後の新たな計画について。

〔産業部長〕昨年度「あいべ」を新設し、1年が経過した中でその課題や効果を検討しております。また、芸術文化協会との連携によるまちなかギャラリ―も実施致しました。新たに立ち上げた中心市街

地まちづくり活性化支援事業につきましては、商工会議所を事業主体とするまちづくり活動に対して県と合わせて総事業費820万円の支援をしております。

20年度市政運営方針に景観形成事業としてある、「花と樹木におおわれたまちづくり事業」における市民協働のあり方はどのようなものになるのか。また具体的な事業計画はあるのか。

〔建設部長〕本計画は市民と行政の協働により事業を推進していきたいと考えており、昨年度に引き続き今年度も実施検証のためのモデル事業を実施してまいりました。そこで、各々の役割分担を考えながら力を合わせて取り組むことができましたが、この検証によって得られた点を踏まえて今後の計画に反映してまいりたいと考えています。具体的な計画は、今年度末までに第1期実施計画を策定したいと考えております。



行政の市民に対する 説明責任について

木村 政信 議員

これまで所属課の説明で事足りていたが、市民に対して担当だけでは説明しきれなくなっている。こうしたことは厳しい財政にもよるが、国の施策により条例の変更、ひいては政策の転換まで余儀なくされるからである。それを一担当課だけで行おうとすれば、役所全体に通じる明快な方針・指針が必要だ。それが出来なければ多くのことは市長自らが初めから説明に赴き、何をするかは勿論だが、何故そうするか、首長の方針を説明するべきだがどうか。

〔市長〕 18年度からパブリックコメント制度を実施し、市民生活に密接に関連する重要な制度の制定、または改廃などを行おうとするときには行政運営の公平性や透明性を図り、市民の方々への説明責任を果たすように努めています。外国から見た日本と日本人が一番光り輝いていたのは、江戸末期から大正初期にかけてである。これは江戸から明

治初期に素晴らしい素養を育んできたからに他ならない。では何を学んでいたのかといえは四書五経をはじめとする古典であり、それを読み下した日本語である。こうした教育こそが今の公教育に求められていると考えるので、教育現場に何を望み何を発信していくのか、米沢市公教育に対する思いをお聴きする。

〔教育長〕 教育は人が人に対して行う神聖な作業です。単に知識や技術の伝達にとどまらず、深い信頼関係で結ばれた人間関係の中で、子供の個性にに応じて様々な能力を十分に引き出し伸ばしてやること、教師に課せられた責任・責務となります。教育長として特に児童生徒、教職員の安心と安全を確保し維持していきながら、伝統的な言語文化に関する指導の重視を取り上げられていきますので、今後一層、各学年での系統づけた取り組みを、古典を通して進めてまいります。



安部市長就任期間中の 新規職員採用について

鈴木あきお 議員

少子高齢化にともない、勤労層が減少し高齢者が大きな比率を占める時代になれば税収も激減し、職員の人件費が今以上に本市財政を圧迫することは容易に予想できるはず。安部市長の就任期間中は最低でも新規職員の採用ストップを決定して、財政基盤の強化を図り危機的状況に立ち向かっていく気概はないのか。

〔市長〕 基本的に考えていないところであります。行財政改革において、財政基盤強化は最も重要な視点ですが、新規採用を完全にとめてしまうと、組織の構成が偏り、有為な若者の能力を活用する機会を失えば将来の活力低下が懸念されます。退職者数を勘案しながら行財政改革による効果が発揮できる程度に、新規採用の門戸を空けておくことは必要なことと考えています。市民からも非常に市の職員が多いのでは、との声があるのも確かで民間の大企業は正社員もリストラし、会社の存

続をかけている状況である。市役所は首切りできないところであるが、団塊世代の大量退職や予定外退職も出ている。この機会に職員をとらず人件費を抑制すべきである。財政縮小の時代に職員の採用をしないと、業務に支障が出るのか。また新年度の採用予定者は何名か。

〔市長〕 緊急の課題が山積している中、アウトソーシングなどによる行政の省力化を同時に進めていき、一定の職員採用により組織としての戦力を確保し、そして育てていくことが必要だと考えているところ。〔総務部長〕 市立病院を除いた一般行政職につきましては、現在のところ7名採用する予定です。内訳は、上級行政5名、初級行政2名の予定となっています。また消防職員につきましては5名を採用する予定です。

12月定例会で

決まりました

次のこと

● 専決処分事件の報告について

● 米沢市東部コミュニティセンターの指定管理者の指定について

● 米沢市西部コミュニティセンター及び米沢市克雪プラザの指定管理者の指定について

● 米沢市南部コミュニティセンターの指定管理者の指定について

● 米沢市北部コミュニティセンターの指定管理者の指定について

● 米沢市愛宕コミュニティセンターの指定管理者の指定について

● 米沢市万世コミュニティセンターの指定管理者の指定について

● 米沢市広幡コミュニティセンターの指定管理者の指定について

● 米沢市塩井コミュニティセンターの指定管理者の指定について

● 米沢市六郷コミュニティセンターの指定管理者の指定



アメリカ発の世界的経済危機の中で 本市の現状と今後の雇用・経済対策は

高橋かもん 議員

世界的な金融危機と経済不安の中で、本市における企業活動や雇用環境等の実体経済の現状と今後の対応策は。

〔市長〕 世界的な景気後退を背景に全国的に影響が現れ、特に自動車関連産業の急激な落ち込みで、製造業全般に厳しさが波及しています。

製造業を中心に生産活動及び非正規社員の雇用打ち切りが相次いでおり、非常に厳しい状況にあります。このため本市では、緊急の庁内対策会議を持ち、関係機関等と連携を密にし、できることから生活支援策を講じてまいります。

企業に対する年末年始の資金繰りや運転資金への支援策が必要ではないか。また、急激な雇用情勢の悪化が予想される中で、非正規社員に対する生活安定資金貸付金は十分な対応がされているか。

〔産業部長〕 本市企業のセーフティネットの利用状況は本年4月から10月まで45件であったものが11月には新たな

緊急保証制度により23件と急増しています。これから年末期を迎え運転資金の確保や資金計画の見直しで、今後、信用保証料の補給額が当初予算をオーバーすることも予想されることから、補正予算を視野に入れ対応してまいります。また、非正規社員への対応は、「米沢市労働者生活安定資金貸付金」を準備し、融資限度額150万円、年2%の低金利で貸付を行っており、さらに山形県労働者信用基金協会と協定し、「信用保証事業基金拡充貸付」の保証料の補給を実施しております。

本市は「ものづくりのまち」であり、今後、企業活動や雇用環境は予想以上に悪化し長期化することが考えられる。来週開催される「緊急の庁内対策会議」では、市内中小企業支援・失業者の生活支援はもちろん、公共事業の前倒し等も視野に入れ、市役所一丸となり、早急に「緊急経済対策」を講じるよう要望する。



特別養護老人ホーム待機者の 解消策は

佐藤 忠次 議員

特別養護老人ホームの待機者数は、平成20年10月1日現在256名、昨年の同時期には170名であり、1年間で86名も増加している。待機者の解消策はあるのか。

〔健康福祉部長〕 施設整備は、介護保険料の設定にもかかわりが大きいことから、これまで国は介護保険事業計画の策定の際に、施設整備の基準を示しておりまして、本市でもその内容と本市の実態に基づいて判断をしてきました。第4期介護保険事業計画では、新設ではなく、介護老人保健施設の増床を検討したいと思っています。

完全米飯給食に移行出来ないか。

〔教育指導部長〕 平成21年度は、週1回増やして、米飯給食の週4回の実施に向けて、関係部署と協議し進めているところです。

地域振興整備公団から市に移管になった八幡原工業団地内のため池に蓮の花を植栽し、

蓮公園を造れないか。

〔建設部長〕 この場所は当時の公団より緩衝緑地として移管を受けたものであり、その目的を持って管理しています。蓮の植栽については、松が岬公園のお堀を考慮しており、お堀いっぱいには蓮を増やし、観光客や市民に蓮の花の咲き乱れるさまを楽しんでいただけるよう努力してまいります。

※工業団地内での大気汚染、騒音・悪臭などの公害の防止・緩和を目的として設けられる緑地



宮城県伊豆沼一面に咲きほこる蓮の花

- 米沢市窪田コミュニティセンターの指定管理者の指定について
- 米沢市三沢コミュニティセンター及びよねざわ昆虫館の指定管理者の指定について
- 米沢市田沢コミュニティセンターの指定管理者の指定について
- 米沢市山上コミュニティセンターの指定管理者の指定について
- 米沢市上郷コミュニティセンターの指定管理者の指定について
- 米沢市南原コミュニティセンターの指定管理者の指定について
- 米沢市営八幡原体育館等の指定管理者の指定について
- 米沢市上杉博物館の指定管理者の指定について
- 米沢市市税条例の一部を改正する条例の一部改正について
- 米沢市市税条例の一部改正について
- 米沢市斎場の指定管理者の指定について
- 米沢市営駅前自転車駐車場及び米沢市営駅東自転車駐車場の指定管理者の指定について



新エネルギー利用の推進と 本市の障がい者雇用は

こくぼ
小久保広信 議員

新エネルギー利用の推進についての進捗状況と市庁舎や市有施設に新エネルギーを導入する具体的な事業計画を持つべきであると考えているがどうか。

〔市長〕 基本的な考えとしては、新エネルギーの普及の成否は、行政による補助金等の投資ありきでなく、最終的に、私たち一人一人の意識と行動がその行方を左右すると考えています。本市の新エネルギービジョンでは、市民の皆様の新エネルギーに対する関心と理解を深めていただく取り組みを最優先事項として位置づけています。この取り組みに終わりはないと考えています。

小水力発電は、流れ込む水力を利用した小規模な発電設備であり、ある程度の水量と水位差があれば発電が可能なシステムである。即戦力となる新エネルギーであると考えられるが、小水力発電の導入をどう考えているか。



効果的な「猿被害対策」を急げ

とくお
我妻 徳雄 議員

近年は、猿の生息域に隣接する農地のほぼ全域で猿による農作物の被害等が発生している。せっかく作った農作物が毎年毎年猿に荒らされ、耕作をあきらめた農家も目立つ。農地を含めた集落全体を猿にとつて魅力のない場所にするのが大切であり、森林、里山、農業、地域社会などを総合的に考えた対策が大事である。「野猿保護管理専門員」「野猿監視員」の配置や猿を追いつつための「モンキードッグ」の導入など先進地で効果の出ている対策を早急に講じる必要があるのではないかと。

〔産業部長〕 奥山に生息していた個体群のうち、複数の群れが人家の密集する地域まで姿を見せるようになりました。現在では、市内の東部、南部、西部のほぼ全域で猿の生息が確認されており、個体生息頭数は510頭、群の数は10群と推定されます。猿被害対策としては、まず、猿の生息等について地域の方々と一緒

に勉強し、同一認識を持つて次の手段を講じるのが得策と考えており、今後、官民挙げて対策を進めてまいります。なお、ご提案の「野猿保護管理専門員」「野猿監視員」の配置や「モンキードッグ」の導入につきましては、先進地を視察・勉強し、前向きに検討してまいります。

人事院より「非常勤職員に対する給与」についての指針が示された。本市でも、公務関連労働者の最低賃金の決定や、公契約における人件費単価の積算において、この指針の趣旨を活かす必要があるのではないかと。

〔総務部長〕 指針は、国からまだ正式に示されておりません。今年度の人事院勧告に「非常勤職員の問題は、今後は政府全体としてそのあり方をどのようにしていくのか、幅広く検討を進めていく必要がある。」と盛り込まれていることから、今後の国の動向を見守りたいと考えております。

米沢市営駐車場の指定管理者の指定について
米沢市敬師児童センターの指定管理者の指定について
米沢市窪田児童センターの指定管理者の指定について
米沢市上郷児童センターの指定管理者の指定について
米沢市立興望館の指定管理者の指定について
米沢市立ひまわり学園の指定管理者の指定について
米沢市老人福祉センター「寿山荘」の指定管理者の指定について
米沢市老人福祉センターの設置及び管理に関する条例の一部改正について
米沢市高齢者生活支援条例の一部改正について
米沢市立病院使用料及び手数料条例の一部改正について
置賜広域観光案内センター等の指定管理者の指定について
米沢市地域資源活用センターの指定管理者の指定について
米沢市営と畜場及び米沢市営食肉市場の指定管理者の指定について
米沢市田沢採草地の指定管理者の指定について



米沢らしさの教育方針について

小島 卓二 議員

新教育長が考える米沢らしさの教育方針については。

〔教育長〕第2期米沢市教育・文化計画には、目的意識の確立、倫理観の醸成、実学性の重視の三つの大きな柱があります。目的意識の確立には、一人一人の良さを生かし、自らが向上心を持つて自己実現に向かう児童生徒の育成、体力・運動能力低下の課題解決や、生涯スポーツの視点に立った学校教育の推進という文武両道を目指した米沢の教育方針が打ち出されており、引き続き継続してまいります。

平成20年度の本市全児童生徒数は7702名、学級数は314である。平成26年度に予想される児童生徒数は6999名で、703名の減少となり、学級数は21以上の減少となる。さらに複式学級の増加も予想される中、学区の見直しや、小中一貫教育の導入を検討すべきではないか。

〔教育指導部長〕学校の小規模化に係る課題は、少人数の



市長が目指す米沢の農業振興策とは ―選挙公約の検証から―

島軒 純一 議員

市長選2期目のマニフェストで「大都市で米沢の農産物・加工食品・地場産業製品を販売する拠点をつくります。米沢の農家と都会の消費者との接点を増やします。」とし、1年以内に「おしよしなシヨップ（仮）」を設置するとしている。市長の農業振興のための政策が足りない状況や、「天地人」放映という絶好の機会を前にして、一歩踏み込んだ政策として期待をしていたが、就任して1年以内と言

内の観光拠点の2カ所に設置する準備を行っています。

2期目の市長は、自分のマニフェストの実行性があるかないか、担当と十分な検討が出来たのではないか。また「天地人」放映を最大限に活かそうと言う観点からも、この1年遅れた公約違反の責任は大きいのではないか。

〔市長〕遅れてはいますが、方向付けを変えずやるので批判にはあたりません。

実際に仕事をしたのは職員であつても市長の全責任だ。自分ができなかったことを重く受け止めるべきだ。また職員ができないと言ふことも、市長の指導力と熱意の問題ではないか。

〔市長〕重ねてご質問とあれば、部長から話します。

〔産業部長〕市長がマニフェストを遂行する立場ではありますが、それを補助し進めるのが事務方で、遅れたのは私の責任であります。大変申しわけございませんでした。

〔市長〕多額の費用を要しないで行けるという話がありましたが、うまくいきませんでした。今後も多額の費用を要せず出店できるところを探していきます。1年以内でというのは延びていますが、目標を別なものに変えたのではありません。現在は、県の東京でのアンテナシヨップ「新ゆとり都」への出店と、米沢市

- 米沢市林業センターの指定管理者の指定について
- 笹野民芸館の指定管理者の指定について
- 米沢市森林体験交流センターの指定管理者の指定について
- 米沢市吾妻山ろく放牧場の指定管理者の指定について
- 米沢市山田広場施設の指定管理者の指定について
- 米沢市青果物地方卸売市場条例の一部改正について
- 米沢市手数料条例の一部改正について
- 米沢市市営住宅条例の一部改正について
- 平成20年度米沢市一般会計補正予算（第4号）
- 平成20年度米沢市国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第2号）
- 平成20年度米沢市介護保険事業勘定特別会計補正予算（第3号）
- 平成20年度米沢市と畜場及び食肉市場費特別会計補正予算（第1号）
- 平成20年度米沢市下水道事業費特別会計補正予算（第1号）
- 平成20年度米沢市立病院事業会計補正予算（第1号）



運動公園の状況、寿山荘と小野川 スキー場、環境トレンド

とりうち りょうへい
鳥海 隆太 議員

総合運動公園拡張用地の状況は。

〔企画調整部長〕 用地の買い戻しを計画的に進めたいと考えています。公園内にサッカー場建設を進めるとなれば、現在教育委員会で検討中の建設規模等の検討結果がまとまり次第、用地取得時期を判断します。結論が出た場合、来年度策定予定の第3期実施計画でサッカー場建設の事業年度を明確にします。

〔教育管理部長〕 人工芝のサッカー場を優先的に整備すべきと方向性を出しました。場所・規模について、市体育協会等、関係団体とこれから話し合いを行い明らかにします。寿山荘の今後の計画、老人福祉施設と小野川温泉とのコラボレーションの考えはあるか。

〔健康福祉部長〕 施設運営を一般財源のみで賄うのは困難ですので、この3箇年で高齢者のニーズに応える事業展開を構築し、有利な財源を模索

して対応します。営業時間は、現在10時から16時ですが今後の展開により考慮します。

小野川温泉とのコラボレーションについては、寿山荘利用者の方へ観光案内などを行っていますが、今後、小野川温泉と連携し地域に根ざした運営を行っていきます。

小野川スキー場の存続は。〔教育管理部長〕 第2期集中改革プランで廃止を検討中ですが、今後も各方面と精力的に協議します。

今後の環境政策のトレンドは。〔市民環境部長〕 国等が行う補助事業を積極的に活用し、21年度は地域協議会民生用機器導入促進事業に応募、ペレットストーブの導入を進めていきたいと考えています。

また本市が行う環境負荷を軽減する事業に、その経費を協賛頂く形でカーボンオフセット・クレジットを導入出来れば、是非そのようなものに手を挙げたいと考えています。



川西町との合併について

えんどう こうそう
遠藤 こうそう 議員

新合併特例法期限内に川西町との合併に取り組めないか。

〔市長〕 今の状況からいけば特例法期限内の取り組みはなかなか難しいものにとらえています。また合併に関して市民の合意形成を図るには、本市が他市町からどのように見られているかを客観的に知り、色々と考えていただくことが必要だと思っています。

金銭教育には、幼少期からの躾と訓練が必要ではないか。〔市長〕 勤労がなくて豊かな生活となると誤った金銭感覚になると思いますので、市民憲章にある勤労を尊ぶことを子ども達に教えていくことも極めて重要と考えています。

〔教育長〕 小・中学校では社会科や家庭科の授業の中で経済や金融、消費生活について指導しています。米沢らしい金銭教育として道徳の時間に、質素儉約や棒杭市など先人の思いを学び現代の私達の生活や生き方に活かすことを勉強しています。また子ども達の

価値観や金銭感覚には保護者の影響も大きく、社会教育と連携しながら地域や家庭への啓発も進めていきたいと思っています。

〔産業部長〕 放送を契機として平成21年に本市を訪れる観光客は330万人、「天地人博」入館者数は20万人が目標です。現在、会津・米沢地域観光圏として滞在型観光に向けて事業を展開しており、その一つとして、街なか歩きにより、市民との交流や本市独特の風情に触れていたただけのように休憩所、トイレ、観光情報を提供する場所などを分かちやすくお知らせすべく検討しています。（仮）先人顕彰館など米沢・置賜が理解できる場については不足しがちな城下町の風情を補完する有効な観光資源ですが、その施設整備は今後の課題と考えます。

〔市長〕 勤労がなくて豊かな生活となると誤った金銭感覚になると思いますので、市民憲章にある勤労を尊ぶことを子ども達に教えていくことも極めて重要と考えています。

- 平成20年度米沢市営駐車場事業会計補正予算（第1号）
 - 米沢市国民健康保険条例の一部改正について
 - 平成20年度米沢市一般会計補正予算（第5号）
 - 平成20年度米沢市国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第3号）
 - 平成20年度米沢市後期高齢者医療費特別会計補正予算（第1号）
 - 平成20年度米沢市介護保険事業勘定特別会計補正予算（第4号）
 - 平成20年度米沢市と畜場及び食肉市場費特別会計補正予算（第2号）
 - 平成20年度米沢市下水道事業費特別会計補正予算（第2号）
- 以上の議案は、すべて原案どおり可決されました。
- 米沢市特別職の職員の給与に関する条例等の一部改正について
 - 米沢市特別職の職員の給与に関する条例等の一部改正について（修正案）
- 以上の議案及び修正案は、否決されました。



新しい児童保育計画を策定し、 保育の拡充を

高橋 壽 議員



市長が考えている米沢市について

工藤 正雄 議員
くどう まさお

政府は、財界の要請で年内にも保育制度を国や自治体が保育に責任を負わない方向に変える方針を出す予定である。保育の「民営化」をさらに進めようとする方針である。

これは、公立、民間認可保育所を問わず、すべての公的保育所に関わる問題で、全国の保育関係者が反対の声を上げている。

市立東部ひかり保育園の「民営化」も国の方針に沿って実施するものである。

本市は、国が進める保育の行政責任を投げ出すやり方が、本市の保育にとって将来にわたり本当にいいものかどうか、今こそ問うべきである。

そのために、①新しい児童保育計画を策定し、本市の将来の保育の方向を明確にすること、②公立、民間認可、認可外それぞれの保育所の役割と課題に沿って支援していくこと、③保育計画策定の責任と役割は公立保育園の保育士が担うべきもので、市長は、

その役割を果たせるような体制をつくるべきと考えるが、どうか。

〔市長〕平成21年度に次世代育成支援計画後期地域行動計画を策定する予定です。そのためのニーズ調査をしています。ですが、その結果を踏まえ、公立、民間を含め市全体の保育所のあり方を検討することにしていきます。その検討を通して、今後の本市の保育をどう拡充すべきか議論していただきたいと考えています。

また、その際は、公立、民間を問わず、保育士のみならず、に計画策定の委員として参画していただき意見を計画に反映していただきたいと考えています。



2期目のこの1年間を振り返り、市政の実績をどのように自己評価しているか。

〔市長〕マニフェストの項目で、翌日からの項目については、既に検討や実施に至っています。1年以内のものは、今年度の予算に計上あるいは計画策定に着手しています。4年以内としたものについては、第2期実施計画に登載し、コミセン整備計画・サッカー場整備構想づくり・新図書館構想づくりを位置づけたところ。行財政改革については、集中改革プランを改定し、事業計画を整理しました。これまでのおおむね順調に進めてきたと認識しています。

これから市政を貫くために市民に何を信じてもらいたいと考えているのか。

〔市長〕厳しさが更に増すと予想されますが、米沢にはたくさんの方の先人から受け継いだ財産、まだ注目されずに潜在している資源が存在しています。これらに光を当てて米沢

の強みへと変えていくためには多様な価値観や技術を持つ市民の力が必要と考えています。市民との協働・市民総参加のまちづくりを推進し、しっかりと存在感のある米沢にしたいと考えています。

2期2年目行財政での改革をどのように考えているのか。

〔市長〕第2期集中改革プランとして財政効果額30億円を目標にしています。

市立病院の経営改革・土地開発公社の保有地の問題に、自ら先頭に立ち解決に向けて道筋をつけて行きたいと考えています。

松川コミセンの用地は特定したのか、また地元の建設場所・施設への要望は聞いて貰えるのか。

〔教育管理部長〕用地については、市側の考え、地元への希望があり現在調整している途中です。施設については、地元と十分に話を煮詰めていき、早急に方向性を出していく考えです。

議会カレンダー

1日～3日	総務文教常任委員会管 外行政視察（大野城市・ 武雄市）
▼10月▲	
6日	各派代表者会
7日～9日	産業建設常任委員会管 外行政視察（鹿児島市・ 綾町）
10日	議会だより編集委員会
14日	各派代表者会
16日	議会だより編集委員会
17日	置賜二市二町議会議員 親善交流会（川西町）
20日～23日	
21日	民生常任委員会管外行 政視察（堺市・八幡市・ 京都市・香芝市）
27日	各派代表者会
28日	総務文教常任委員会
29日	民生常任委員会
29日	産業建設常任委員会
31日	各派代表者会 市政協議会
▼11月▲	
7日	各派代表者会
10日～12日	議会運営委員会管外行 政視察（伊賀市・飯田 市）



景気悪化による雇用等の対策と 公共交通の整備について

しらね たくし
白根 澤澄子 議員

世界的な金融危機により景気が悪化し、派遣社員など非正規労働者が解雇されている。

解雇の実態を把握し、市内企業、とりわけ誘致企業に雇用確保を要請する必要があるのではないかと。また、失業者のための相談窓口を設置し、生活費や住居の支援をしていたきたい。

農林業、中小企業も経営が苦しくなっており、原材料高、売上高減少で借りられる市の融資制度を設けられないか。

〔市長〕 先日担当課で従業員規模100人以上の企業から聞き取りを行いました。なかなか厳しい状況になっています。ハローワークや関係機関との連携を密にしながら、できるところから生活支援策を講じてまいりたいと考えております。

〔産業部長〕 失業者の相談窓口につきましては、全庁的に検討してまいりたいと考えております。雇用確保は、今後の景気を見定めながら対応し

てまいります。

中小企業の資金繰りについては、国が新たな緊急保証制度を創設しておりますし、農業経営でも、国や県が燃料・生産資材等に対する支援措置を講じることになりました。

地域公共交通システムの整備は、高齢化の進展などで近年必要性が高まっている。通勤・通学・買物・通院のために、環境と安全のために、地域活性化と観光のために、米沢市全域を網羅する地域公共交通整備計画を作成する時期にきているのではないかと。

〔企画調整部長〕 現在の利用者や潜在的利用者のみなさんと、市民バスの現状の評価や公共交通のあり方等についてワークシヨップ的な形を取りながら検討させていただきたいと考えております。



常任委員会

12月10・12日に開かれた常任委員会の審査から質疑の主なものをお知らせします。

総務文教

▼米沢市特別職の職員の給与に関する条例等の一部改正について

本案は山形県人事委員会の勧告に準じ、特別職及び一般職の職員の期末手当の支給率を改定しようとするものです。

〔委員〕 未曾有の経済危機のなか非正規労働者や派遣社員的大量解雇などの厳しい現状において、協働のまちづくりを進めるためには行政への信頼感が第一と考えているが、その意味から手当ての引上げは時期を逸しており、我慢すべきでないか。

〔総務課長〕 調査対象が民間企業であり、調査時期が昨年8月から本年7月までの1年間であるため、勧告内容と現在の景気動向には差異が生じるのは止むを得ないと考えています。

また、行政への信頼については、手当ての引上げを見送ることでは確保するのではなく、行政サービスの向上に努める

ことや市民の付託に応えるべく、より一層、業務に励むことで市民の信頼を得るべきものと考えております。

民生

▼米沢地区の透析医療の確保について

本請願は、米沢地区における透析患者数が、増加の一途にあるなかで、透析施設は4施設しかなく、個人病院の透析継続の先行きに不安があること、米沢市立病院や三友堂病院が満床状態となった場合や、医師不足になった場合の夜間透析の縮小、廃止の懸念があることなどから、市に対して、米沢地区における透析施設の確保について方策を進めるよう求めるものです。

〔委員〕 市民への啓蒙は。

〔病院事業管理者〕 糖尿病が進行して糖尿病腎症から腎不全になる患者で透析する方が全体の4割を超えています。動脈硬化性の腎症や、昔は慢性腎炎が長引いて腎不全という方もありましたが、今は糖尿病の方が圧倒的に多く、ここ10年で透析の患者が30%ぐらいいまっています。本市の健康診断の受診率は低いのですが、健診を受けて対応をとれば、糖尿病にならなくて済む

14日	民生常任委員会管内視察（ジークライト・森崎興業）
18日	産業建設常任委員会 山形県市議会議長会 会報研修会（南陽市）
19日	福島市・米沢市・相馬市・伊達市議会連絡協議会全体会議（福島市）
20日	各派代表者会 議会運営委員会
21日	総務文教常任委員会
25日	民生常任委員会
26日	産業建設常任委員会 市政協議会 各派代表者会 議会運営委員会
28日	議会運営委員会
3日	▼12月▲ 本会議（招集日） 議会運営委員会
5日	総務文教常任委員会 本会議（一般質問） 議会運営委員会
8日	民生常任委員会 本会議（一般質問） 市政協議会
9日	本会議（一般質問）
10日	総務文教常任委員会
11日	民生常任委員会
12日	産業建設常任委員会 議会図書室運営委員会
15日	予算特別委員会 議会運営委員会 市政協議会



景気悪化による雇用等の対策と 公共交通の整備について

しらね たくすみ こ
白根澤澄子 議員

世界的な金融危機により景気が悪化し、派遣社員など非正規労働者が解雇されている。

解雇の実態を把握し、市内企業、とりわけ誘致企業に雇用確保を要請する必要があるのではないかと。また、失業者のための相談窓口を設置し、生活費や住居の支援をしていたきたい。

農林業、中小企業も経営が苦しくなっており、原材料高、売上高減少で借りられる市の融資制度を設けられないか。

〔市長〕 先日担当課で従業員規模100人以上の企業から聞き取りを行いました。なかなか厳しい状況になっています。ハローワークや関係機関との連携を密にしながら、できるところから生活支援策を講じてまいりたいと考えております。

〔産業部長〕 失業者の相談窓口につきましては、全庁的に検討してまいりたいと考えております。雇用確保は、今後の景気を見定めながら対応し

てまいります。

中小企業の資金繰りについては、国が新たな緊急保証制度を創設しておりますし、農業経営でも、国や県が燃料・生産資材等に対する支援措置を講じることになりました。

地域公共交通システムの整備は、高齢化の進展などで近年必要性が高まっている。通勤・通学・買物・通院のために、環境と安全のために、地域活性化と観光のために、米沢市全域を網羅する地域公共交通整備計画を作成する時期にきているのではないかと。

〔企画調整部長〕 現在の利用者や潜在的利用者のみなさんと、市民バスの現状の評価や公共交通のあり方等についてワークシヨップ的な形を取りながら検討させていただきたいと考えております。



常任委員会

12月10・12日に開かれた常任委員会の審査から質疑の主なものをお知らせします。

総務文教

▼米沢市特別職の職員の給与に関する条例等の一部改正について

本案は山形県人事委員会の勧告に準じ、特別職及び一般職の職員の期末手当の支給率を改定しようとするものです。

〔委員〕 未曾有の経済危機のなか非正規労働者や派遣社員的大量解雇などの厳しい現状において、協働のまちづくりを進めるためには行政への信頼感が第一と考えているが、その意味から手当ての引上げは時期を逸しており、我慢すべきでないか。

〔総務課長〕 調査対象が民間企業であり、調査時期が昨年8月から本年7月までの1年間であるため、勧告内容と現在の景気動向には差異が生じるのは止むを得ないと考えています。

また、行政への信頼については、手当ての引上げを見送ることで確保するのではなく、行政サービスの向上に努める

ことや市民の付託に応えるべく、より一層、業務に励むことで市民の信頼を得るべきものと考えております。

民生

▼米沢地区の透析医療の確保について

本請願は、米沢地区における透析患者数が、増加の一途にあるなかで、透析施設は4施設しかなく、個人病院の透析継続の先行きに不安があること、米沢市立病院や三友堂病院が満床状態となった場合や、医師不足になった場合の夜間透析の縮小、廃止の懸念があることなどから、市に対して、米沢地区における透析施設の確保について方策を進めるよう求めるものです。

〔委員〕 市民への啓蒙は。

〔病院事業管理者〕 糖尿病が進行して糖尿病腎症から腎不全になる患者で透析する方が全体の4割を超えています。動脈硬化性の腎症や、昔は慢性腎炎が長引いて腎不全という方もありましたが、今は糖尿病の方が圧倒的に多く、ここ10年で透析の患者が30%ぐらいいくれています。本市の健康診断の受診率は低いのですが、健診を受けて対応をとれば、糖尿病にならなくて済む

14日	民生常任委員会管内視察（ジークライト・森崎興業）
18日	産業建設常任委員会
19日	山形県市議会議長会 会報研修会（南陽市）
20日	福島市・米沢市・相馬市・伊達市議会議長協議会全体会議（福島市）
21日	各派代表者会
25日	各派代表者会
26日	各派代表者会
28日	各派代表者会
3日	各派代表者会
5日	各派代表者会
8日	各派代表者会
9日	各派代表者会
10日	各派代表者会
11日	各派代表者会
12日	各派代表者会
15日	各派代表者会

▼12月▲

14日 民生常任委員会管内視察（ジークライト・森崎興業）
18日 産業建設常任委員会
19日 山形県市議会議長会
会報研修会（南陽市）
20日 福島市・米沢市・相馬市・伊達市議会議長協議会全体会議（福島市）
21日 各派代表者会
25日 各派代表者会
26日 各派代表者会
28日 各派代表者会
3日 各派代表者会
5日 各派代表者会
8日 各派代表者会
9日 各派代表者会
10日 各派代表者会
11日 各派代表者会
12日 各派代表者会
15日 各派代表者会

人が多いので、健診を受けることが大事です。

産業建設

▼米沢市青果物地方卸売市場
条例の一部改正について

本案は、山形県卸売市場条例の一部改正に伴う所要の改正を行うほか、規定の整備を図ろうとするものです。

【委員】生産者等が卸売業者へ支払う委託手数料の額の設定方法は。

【農林課】市長が定める上限の範囲内において、卸売業者が決定し、市長に届出ることとしておりますが、今回の条例改正においては、現状の率をそのまま採用したいと考えております。

▼米沢市市営住宅条例の一部改正について

本案は、市営住宅への暴力団員の入居を排除する規定を加えようとするものです。

【委員】暴力団員に該当するのはどのような場合か。

【建築住宅課長】「暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律」に規定する暴力団員が該当するものであり、今後、警察と協定を結び、入居の際等に必要に応じて照会をする予定です。

予算特別委員会

12月15日に開かれた予算特別委員会の審査から質疑の主なものをお知らせします。

【委員】東部ひかり保育園の移転改築用地の選定及び2階建てにしようとする理由について聞きたい。

【こども課長】保育園の保護者の方とお話し合いさせていただいて要望が多かった、現在位置から遠くなく、交通量が多くないところ、及び社会的にインフラが整備されていること、具体的には上下水道が入っていること等の条件を設定しまして、庁内の選考委員会のほうにお諮りして決定したところであります。また、保育所は本来平屋ですが、2階に子育て支援センターを併設しようとするものでございます。

【委員】福祉タクシー利用者には人工透析患者もおり、通院などで利用する場合、年間交付枚数では不足することから、状況に応じた対策を講じるべきでないか。

【社会福祉課長】人工透析患者の方につきましては、通院交通費助成事業も行っておりますが、今後種々検討してまいります。

【委員】老人日常生活用具給付等の事業の対象である火災警報器については、平成23年度までの設置義務があることから、給付対象者に制度のPRを行い、積極的に活用し設置促進を図るべきであると思うがどうか。

【高齢福祉課長】制度のPRの実施について今後検討してまいります。

【委員】災害時に備え本市で備蓄している、賞味期限のある非常食の取り扱いについて聞きたい。

【危機管理主幹】水及びクラッカーにつきましては平成17年から3箇年で備蓄したところでございます。賞味期限につきましては水が6年、クラッカーが10年となっておりますので、処分等はしておりますが、他に賞味期限内の寄贈品がありましたので、消防イベント、防災訓練及び産業まつりにおいて市民の方にご利用いただいたところであります。

【委員】三沢東部小学校の屋内運動場については耐震診断で使用不可となったが、地域のコミュニティの場でもあることから、地区住民に改築方針を示すべきでないか。

【市長】地域コミュニティは

大事だと思っておりますが、同じ時期に建設された学校の危険性も考えられますので、全体の状況を把握してから改築の方向性を示すべきだと思います。

【委員】天地人博開催に向けた現在の取り組み状況はどうか。また、訪問客の期待に応えるためにも実物展示をすべきと思うがどうか。

【総合政策課長】天地人博は1月24日から上杉博物館を会場にして開催することになりますが、この1年間のロングランの事業についてNHKエントラープライズと提携しながら内容については設計段階まで決まりましたので、まもなく展示工事に入ります。

展示資料については、上杉博物館収蔵品のほか直江兼続に関する資料、上杉家の時代背景に関する資料を全国から借用し、月1回のペースで内容を変えながらの原本展示をさせていただきます。



15日 各派代表者会
16日 議会だより編集委員会
17日 各派代表者会
18日 各派代表者会
議会運営委員会
本会議（最終日）

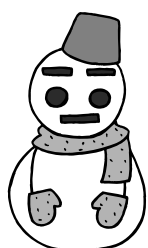
本市を視察していただきました

▼10月▲
1日 浜松市（林業振興、商業・サービス業の振興）

8日 魚沼市（オフィス・アルカディア、天地人）
10日 上越市（天地人）
17日 魚津市（行革大綱、天地人）
村山市（伝国の杜）

▼11月▲
10日 多賀城市（企業立地、ものづくり産業振興戦略プロジェクト）
13日 松山市（天地人）
朝倉市（行革、市民バス）

※（ ）内は視察項目を表しています。



12月定例会で審議した請願の結果は次のとおりです

採 択

- ◆米沢地区の透析医療の確保について（NPO法人山形県腎友会米沢支部長 森下 泰夫）
- ◆子どもを不安なく生めるよう、産科医及び周産期施設の充実を求める意見書提出方請願（米沢地区平和センター議長 堀内 勉）
- ◆金融不況対策において雇用や中小企業の安定を前提に打開策をはかることを求める意見書提出方請願（米沢地区平和センター議長 堀内 勉）

意見書

- ◆子どもを不安なく産めるよう、産科医及び周産期施設の充実を求める意見書（内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣あて）
 - ◆金融不況対策において雇用や中小企業の安定を前提とした打開策を早急に図ることを求める意見書（内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣、経済産業大臣、経済財政政策規制改革担当大臣、山形県知事、米沢市長あて）
- 12月定例会最終日に議員提出の意見書2件を原案どおり可決し、直ちに関係機関へ送付しました。

管外行政視察報告

総務文教

総務文教常任委員会は、10月1日から3日までの3日間、福岡県大野城市、佐賀県武雄市を視察してきました。

大野城市では、前年度の決算を主眼とした行政経営を行っている。そのため、予算編成を従来の積上げ方式（単価査定）から、財政部門の予算管理は総枠管理として、一般財源を部課に配分し、その権限を所管課長に可能な限り任せる予算の枠配分（マネジメント方式）を採用しているのが大きな特徴です。委員一同、大変関心を持って話を伺ってきたところです。

続いて武雄市ですが、ここは、あの「がばいばあちゃん」で有名になった市です。市長は現在39歳と大変若く、初当選時、日本最年少市長として有名になりましたが、TVDラマのロケ地誘致や斬新な特産品の開発など、そのユニークで魅力的な武雄市のまちなみには、全国の目が集まっています。市長の独自のアイデアやユニークな視点からなるまちづくりとそれを支える

即実行に移す行政の弾力的な組織体制などについて視察してきました。

民生

民生常任委員会は、10月20日から23日までの4日間にわたり大阪府堺市、京都府八幡市、京都府京都市、奈良県香芝市を視察してきました。

堺市では、公設公営の市立百舌鳥幼稚園と、公設民営の市立こども園保育所の幼保連携型の認定こども園「市立百舌鳥こども園」について視察し、幼児教育や多様なニーズに対応する保育サービスの充実、子育て支援の機能の状況を見てきました。

八幡市では、63の自治体で構成する環境自治体会議が開発した自治体向けの安価な環境自治体政策規格の「環境自治体スタンダード」と、これに基づき「八幡市環境マネジメントシステム」について視察してきました。

京都市では、京都の特性や技術、芸術の蓄積にユニバーサルデザインの考え方を取り入れた「みやこユニバーサルデザイン」について視察してきました。

香芝市では、地域子育て支

援拠点事業について視察してきました。



香芝市子育て支援センター

産業建設

産業建設常任委員会は、10月7日から9日までの3日間、鹿児島県鹿児島市と宮崎県東諸県郡綾町を視察してきました。

鹿児島市は、平成20年放映のNHK大河ドラマ「篤姫」の主人公である「天璋院篤姫」の生誕の地であり、県等との連携により篤姫館の開設、各種イベントの開催、ホームページの開設など、様々な集客・宣伝の対策事業を行っていることから、本市のNHK大河ドラマ「天地人」に対する取り組みの参考とするため視察を行いました。

あとがき、

次に、綾町は、昭和63年に全国に先駆けて制定した「自然生態系農業の推進に関する条例」に基づき、化学肥料や農薬等を軽減して農産物の安全性と自然環境にも調和した農業を推進しています。綾町ではその基準と審査方法、認証方法を定めるなど、安全で健康な農産物を提供するシステムを確立しており、この取り組みを本市農業振興の参考とするため視察を行いました。

米国住宅金融のサブプライムローン焦げ付きに端を発し、証券大手のリーマンブラザーズの破たんをきっかけに、米国の金融危機、更に世界同時不況へと発展。大企業の優等生であるトヨタ自動車も初めての減収減益の赤字決算を発表。軒並み大企業は、非正規社員の解雇通告を発表。米沢市は、いち早く緊急経済対策本部を立ち上げ、種々の方策を発表。市民の暮らしを守るべく、議会と当局が一丸となって、これからの難局を乗り切っていく覚悟です。

【小島卓二】